

自転車は乗車前に必ず点検を行ってください

サドルの固定ボルトが緩んで操作不能

事例
走行中、サドルが外れたために転倒し、打撲を負った。
(2010年10月 山口県)

原因
サドルを固定するボルトが緩んでいたために発生したがたつきにより、荷重がかかってサドルが外れたものです。

購入直後の練習中に転倒

事例
上り坂の途中で電動アシスト自転車が発進する際、後ろへ下がったため転倒し、打撲などの軽傷を負った。
(2010年7月 神奈川県)

原因
急な坂(傾斜: 8度)だったために自転車が後退し、ブレーキやハンドル操作、足を地面に付くなどの対応が遅れて転倒したものです。購入直後の練習中に発生した事故でした。



前輪がロックして転倒

事例
突然前輪がロックされたために投げ出され、頭部を強打した。
(2010年7月 神奈川県)

原因
走行中に前輪に異物を噛みこんだために急制動がかかり、転倒したものです。



段差乗り越えでロックして転倒

事例
下り坂を走行中にブレーキを何度か掛けた後、ロックされたようになって転倒し、骨折した。(2008年10月 宮城県)

原因
ブレーキ制動中に路上の段差等に乗り越えた衝撃で、前輪リムが変形して前輪がロックされたものです。



タイヤ、ハンドルなど、乗る前に点検をしてください。また、ゆるみやがたつきなど異常が見つかったら、購入した販売店等の点検を受けてください。ハンドルに買い物袋や傘などをつり下げないでください。

事故の多くは、使用から1年未満に発生しています。慣れるまでは注意して走行してください。

LEDランプが発煙

事例
LEDランプのスイッチを入れたところ、発煙した。(2010年10月 埼玉県)

原因
取り付けの際、外さなければならない安定器をつけたまま使用したため、回路に過電流が流れて発熱し、破損したものです。



誤った製品を取り付けたり、取り付け方法を間違えて使用すると思わぬ事故につながるおそれがあります。特に蛍光灯器具のランプをLEDランプに交換する場合、既存の器具に適合するものかを確認してください。

ガスコンロから出火

事例
ガスコンロに点火したら、コンロの後方から出火してコンロとその周辺が焼けた。
(2010年7月 千葉県)

原因
ガスコンロにガス用ゴム管を接続した際、ゴム管止めを使わなかったため、接続部に隙間が生じてガスが漏れ、コンロの火が引火したものです。



ガスコンロとガス用ゴム管を接続する際は、赤い線まで差し込んで、ゴム管止めで抜け止めをしてください。ガス用ゴム管がひび割れて固くなってきたら新しいものに取り替えてください。

このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。